

「民音音楽博物館 西日本館」の主な収蔵資料の紹介

「民音音楽博物館 西日本館」を、平成 24 年 4 月 28 日、神戸市・三宮に開設することになりました。貴重な古典ピアノをはじめ、蓄音機やオルゴール、世界の民族楽器などを展示します。

◆フォルテピアノ「カール・シュタイン」

製作者カール・シュタイン（1797～1863）は、著名なヨハン・アンドレアス・シュタインの孫で、ベートーヴェンとの交流も明らかになっている。メトロノームの発明者メルチェルとの技術的交流もあったため、メカニクは軽快で、反応の良いタッチを持つピアノを製作していた。

1840 年製

(サイズ) W : 132cm D : 222cm H : 90cm



フォルテピアノ「カール・シュタイン」

◆ポローニャ・チェンバロ

1680 年頃、イタリアのポローニャで製作されたと推定される。製作者は不詳。音域は 4 オクターブ + 1 ノート（短いオクターブ）。共鳴箱の内側にはヴェネチア派の画法による絵が描かれている。外側と側板には楽器や田園風景の彫刻が施され、その上から赤漆が塗られている。また、脚台にはロココ調の金色の花のモチーフが彫刻された帯飾りが施されている。

(サイズ) W : 85.5cm D : 198cm H : 91cm



ポローニャ・チェンバロ

◆コメント No.1039

特に低音の響きが豊かなディスク型オルゴール。ライブチヒで作られた名器である。コイン投入式。

(サイズ) W:80cm D:46cm H:222cm

ドイツ・ヴィーズパッハ社製 1890年代製



コメント No. 1039

(その他の資料)

- ・スクエアピアノ (マルムショー) 1台
- ・自動再演ピアノ (ソーマー、スタインウェイ) 2台
- ・オルゴール 5台
- ・蓄音機 8台
- ・スタインウェイ・コンサート・グランドピアノ 1台
- ・世界の民族楽器 120点

民音音楽博物館 西日本館

〒651-0083 神戸市中央区浜辺通 6-3-1

関西国際文化センター 3F

事業報告

平成23年(2011年)は次の事業を実施した。

1 音楽資料の収集・保存

音楽図書資料(和書・洋書)262冊、逐次刊行物60タイトル、楽譜資料(管弦楽・吹奏楽用印刷譜、作曲家個人全集等)395点、録音・映像資料(CD、DVD等)103点の資料収集を行い、民音音楽博物館のライブラリー事業として広く閲覧等の利用に供した。

2 古典ピアノ、自動演奏ピアノ、オルゴール、民族楽器の収集と“常設展示”

- 「古典ピアノ室」では、当館収蔵の古典ピアノ等(16～20世紀)を展示、当館スタッフが解説・また自動演奏ピアノを実演した。
- 「オルゴール室」では、オルゴールの歴史を概観できる代表的機種とストリート・オルガンやオートマタを展示し、実演と解説を行った。
- 「楽器展示室」では、世界各地の代表的な民族楽器(約100点)を体系的に分類展示。太鼓やスティール・ドラム、木琴等には自由に触れて音も出せる展示も行った。また、資料の演奏法等をパソコンで説明・紹介した。

3 企画展示の開催

①「輝けるロマン派の作曲家たち～リスト生誕 200 年～」展

開催期間／平成 23 年 1 月 1 日（土）－ 7 月 3 日（日）

来館者数／ 22,681 名

リスト生誕 200 年を記念して、ロマン派を代表する作曲家フランツ・リストに焦点をあて生涯と作品について、当館収蔵の自筆楽譜や自筆書簡を初めて公開展示するとともに、パネル解説でわかりやすく紹介。また、ロマン派の作曲家たちの自筆楽譜や自筆書簡も展示した。

協力：アマラウ・ピエイラ

新渡戸常憲（音楽学博士、音楽評論家、十和田市立新渡戸記念館館長）



リスト展

②巡回展

「輝けるロマン派の作曲家たち～リスト生誕 200 年～」関西展

開催期間／平成 23 年 7 月 23 日（土）－ 8 月 7 日（日）

会場／関西国際文化センター（神戸市・三宮）

来館者数／ 7,017 名

③「子どものための世界民族楽器展」

開催期間／平成 23 年 7 月 10 日（日）－ 9 月 4 日（日）

来館者数／ 9,307 名

夏休み恒例の親子で楽しめる民族楽器を実際に見て、触って、音を楽しめる企画展。珍しい世界の民族楽器を、アジア、アフリカ、ヨーロッパなどの地域ごとに分類して展示。古代文明発祥のエジプトやメソポタミアで奏でられた「笛」や「太鼓」が、世界の国々に伝わり広がった歴史もパネルで紹介した。



子どものための世界民族楽器展

④日本再発見「歌い継がれる大衆の心～ふるさと民謡めぐり～」展

開催期間／平成23年9月11日～12月23日

来館者数／20,009名

日本人の暮らしの中で生まれ、歌い継がれてきた民謡を取り上げ、その歴史と伝承のルーツを年表や地図を用いて紹介。富山県の「越中おはら」、沖縄県の「琉球舞踊」の衣装とともに、民謡の伴奏楽器である、大太鼓などの打ち物、津軽三味線などの弾き物、尺八などの吹き物、鳴子などの鳴り物を展示した。

協力：民族文化連盟、新宿歴史博物館

監修：三隅治雄



日本再発見「歌い継がれる大衆の心～ふるさと民謡めぐり～」展

4 文化講演会及び記念イベントの開催

①「輝けるロマン派の作曲家たち～リスト生誕200年～」展 記念

文化講演会『新渡戸流「フランツ・リストとロマン派の作曲家」～時代が求めた華麗なる芸術家とその作品について～

講師：新渡戸常憲（音楽学博士、音楽評論家、十和田市立新渡戸記念館館長代理）

開催日／平成22年3月7日（月）14：00

会場／民音音楽博物館 ミュージアム・ホール

参加者数／170名

②「輝けるロマン派の作曲家たち～リスト生誕200年～」展 記念

文化講演会『ピアノの魔術師リスト～名人伝説の時代』

講師：響 敏也（作家・音楽評論家）

ピアノ／岡崎 紫

開催日／7月31日（日）14：00

会場／関西国際文化センター6F コスモホール

参加者数／477名

③「輝けるロマン派の作曲家たち～リスト生誕200年～」展 記念

文化講演会『フランツ・リストとロマン派の作曲家たち』

講師：新渡戸常憲（音楽学博士、音楽評論家、十和田市立新渡戸記念館館長代理）

ピアノ／コチシュ・クリスティアン

開催日／11月22日（火）14：00

会場／カワイミュージックショップ仙台店4階ホール

参加者数／88名

- ④「日本再発見 歌い継がれる大衆の心～ふるさと民謡めぐり～」展を記念して、民分連舞踊団「若竹」が、「津軽じょんがら節」「津軽あいや節」、「南部あいや節」などを披露した。

開催日：9月11日（日）、10月9日（日）、11月13日（日）、12月4日（日）

12:00～ 14:00～ （1日2回実施）

会 場：民音音楽博物館1階 メロディーホール

5 教育支援事業の推進

- ①「親子のための手作り楽器音楽体験学習・音楽会」

講師／むらせひろゆきと音楽の仲間たち

開催日／8月6日（土）10:00／14:00

会 場／民音音楽博物館ミュージアムホール

参加者数／10:00/47名

14:00/36名

講師／池田邦太郎、斉藤明子

開催日／8月7日（日）10:00／14:00

会 場／民音音楽博物館ミュージアムホール

参加者数／10:00/30名

14:00/36名

合計2日間 4回 149名

- ②「総合学習」

高等学校3校67名、中学校7校86名、計10校153名の総合学習及び修学旅行生への見学学習支援を行った。

- ③「学芸員研修者受け入れ」

[学芸員博物館実務研修生]

日本女子大学1名、創価大学1名、一橋大学大学院1名、東京学芸大学1名

日本女子大学1名、静岡大学1名、聖徳大学1名、昭和音楽大学2名、(計7大学9名)

[学芸員見学研修生]

東京女子大学(学芸員コース学生)18名

宮城学院女子大学(学芸員コース学生)14名

- ④「大学ゼミ・教師等見学受け入れ」

國學院大学、明治大学等10校121名

6 関係諸機関との相互協力活動

音楽図書館協議会、日本図書館協会、専門図書館協議会、日本博物館協会、国際博物館会議、国際音楽資料情報協会、国際図書館協会連盟、学術情報センター、東京都博物館協議会等との芸術学術的協力活動を展開し、その活動の援助を行った。

7 博物館来館者

平成 23 年総計 52,108 名、平成 9 年 9 月開館当初からの累計来館者数は 1,538,824 名

①「団体及びサークル」

各種団体・サークル計 158 名の見学希望があり実施した。

②「特別見学・その他」

国内外の公的機関関係者、教育関係者、アーティスト、文化人、マスコミ関係者等 336 名見学希望があり実施した。

③「一般来館者」

一般来館者、計 51,614 名が来館見学した。

8 音楽ライブラリー事業活動

①楽譜、図書、視聴覚資料の閲覧・貸出・試聴

平成 23 年は開館日数 132 日間、5,944 名の音楽ライブラリー利用者（来館者）に資料の閲覧、貸出、視聴を実施。

②レファレンス（質問、調査依頼への回答対応）

年間 500 件以上の電話やメール（文書）による調査依頼に応じた。

（昭和 49 年 11 月開館以来の利用者累計は 406,356 名、平成 23 年 12 月末現在の個人登録者数 52,243 名、団体登録数 6,059 団体）

9 出版活動

①「民音博物館だより」（平成 23 年春・夏・秋・冬号計 4 回）

②「館報」（平成 23 年 4 月第 7 号）

③企画展・展示案内：「輝けるロマン派の作曲家たち～リスト生誕 200 年～」展「子どものための世界民族楽器展」「日本再発見 歌い継がれる大衆の心～ふるさと民謡めぐり～展」

平成 24 年の事業計画

1 音楽資料の収集・保存

楽器、音楽図書、楽譜、録音・映像資料の収集、保存並びに活用。

2 楽器等の常設展示の開催

古典ピアノ室、オルゴール室、楽器展示室等で、それぞれの資料を展示。

3 企画展示の開催

①「浅草オペラの時代展」

～大衆文化の転換点・大正時代誕生 100 年を迎えて～

開催期間／平成 24 年 1 月 1 日（日）— 7 月 1 日（日）

本年 7 月 30 日、大正時代が幕開けして 100 年を迎える。展示では、「大正浪漫」の自由闊達な時代に一世を風靡したのが「浅草オペラ」の、人々を熱狂させたスターや当時のヒット曲を紹介。実際に使われた台本や譜面など貴重な資料を公開する。

②「子どものための世界民族楽器展」

開催期間／平成 24 年 7 月 8 日（日）— 9 月 2 日（日）

夏休み恒例の親子で楽しめる民族楽器を実際に見て、触って、音を楽しめる企画展。珍しい世界の民族楽器を、アジア、アフリカ、ヨーロッパなどの地域ごとに分類して展示する。

③「没後 10 年 朝比奈隆～その栄光の軌跡～展」

開催期間／平成 24 年 9 月 17 日（土）— 12 月 23 日（祝）

大阪フィルハーモニー交響楽団の音楽総監督を務めた朝比奈隆氏の生涯と業績を紹介しながら、関連の資料を公開。あわせて、民音コンクール（東京国際音楽コンクール）の歴史も織り込んだ展示をする。

4 文化講演会の開催

◇文化講演会「浅草オペラの時代 “浅草を唄う” レクチャーコンサート」

講師：寺崎裕則（日本オペレッタ協会名誉顧問）

清島利典（脚本家）

甲斐京子（歌手）

滝真奈美（歌手）

柳津昇子（ピアノ）

開催日／平成 24 年 3 月 29 日（木）14:00

会場／民音音楽博物館・ミュージアムホール

収蔵資料

■収蔵資料概数 (平成23年12月末現在)

- ① 古典ピアノ・自動演奏ピアノ・オルゴール等 70点
- ② 民族楽器 730点
- ③ 視聴覚資料 12万点
- ④ 楽譜 4万7千点
- ⑤ 図書 3万6千点
- ⑥ 自動演奏ピアノ用ロール 1133巻
- ⑦ オーケストリオン用ロール 114巻
- ⑧ ミュージックボックス用ディスク 212枚
- ⑨ 美術品、写真等の音楽関連資料 11万点

民音音楽博物館館報 第8号

発行日：平成24年4月20日

編集：財団法人民主音楽協会 民音音楽博物館

〒160-8588 東京都新宿区信濃町8番地

Tel 03-5362-3555 Fax 03-5362-3556

Homepage <http://museum.min-on.or.jp/>

E-mail m-lib@min-on.or.jp

